

『こんにちは県議会です』大町岳陽高等学校 開催概要

- 1 開催日時 平成29年12月19日（火）午後4時20分から午後6時5分
- 2 開催場所 大町岳陽高等学校 南校舎3Fゼミ室
- 3 出席者
 - 大町岳陽高等学校の生徒、同校教員
 - 垣内基良議長、諏訪光昭副議長
 - 広報委員
堀場秀孝議員、小山仁志議員、高村京子議員
 - 地元議員
望月雄内議員、宮澤敏文議員、寺沢功希議員
- 4 意見交換テーマ
 - 「統合した学校について」
 - 「大北地域の活性化について」
 - 「学校生活について」
- 5 開催内容
生徒によるプレゼンテーション、グループディスカッション、意見・感想等の発表
- 6 参加者 64名（出席者30名、傍聴者34名）



○開会

(司会：諏訪副議長)

定刻となりましたので、ただ今から「『こんにちは県議会です』大町岳陽高等学校」を開会いたします。
本日の司会を務めます、長野県議会副議長で広報委員会委員長の諏訪光昭でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、長野県議会では、県内の高校生の皆さんにより身近に県議会を感じてもらうとともに、若い世代の皆さんの意見や考えを今後の県議会での議論の参考とするため、昨年度から高校生とのグループディスカッションによる意見交換を実施しております。

今年度は、県議会の広報委員会において、高等学校の統合により新たに設置された高校の生徒の皆さんと意見交換をしたいと考えました。

中でも、平成28年度に統合され、県下でも一番新しい県立高等学校である大町岳陽高等学校で実施することを学校に提案したところ、快く承諾していただき、今日の開催に至りました。

多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。

なお、お手元に、「議会のごあんない」のパンフレットと9月定例会の広報紙「こんにちは県議会です」を配付してあります。来年1月14日には、直近の11月定例会の広報紙が、新聞折込みにより皆さんのお手元に届きますので、是非ご覧になってみてください。

それでは、長野県議会を代表いたしまして、垣内基良長野県議会議長からごあいさつ及び県政報告を申し上げます。

○あいさつ・県政報告

(垣内議長)

ご紹介いただきました、長野県議会議長の垣内基良でございます。

本日は、大町岳陽高等学校において、「こんにちは県議会です」を開催いたしましたところ、多くの皆さんに御参加いただき、ありがとうございます。

また、開催にあたりまして、御多用の中、山崎校長先生をはじめ、多くの皆さま方の御協力を賜りましたことについて、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、開催に先立ちまして、若干、議会の仕組みと県政についてお話しをさせていただきます。

お手元の「議会のごあんない」というパンフレットの1ページ目をご覧ください。左下「議会の組織」にありますように、県議会は、全議員が出席する本会議での審議と議員が6つの委員会に分かれて行う審議の二つから成り立っています。

定例会は、年4回、2月、6月、9月、11月に招集されますが、直近では、11月定例会が11月22日から12月8日まで開催されました。

11月定例会での審議の状況を申し上げますと、本会議では、大北森林組合等補助金不正受給問題や県立高校「学びの改革」等について様々な議論がありました。

この場では、その中でも特に皆さんに関係が深い事柄として、県立高校「学びの改革」について紹介します。

教育委員会が進めようとしている「学びの改革」について、議員からの、「高校生に対して『探究的な学び』を推進していくとあるが、今なぜ『探究的な学び』なのか。」との質問に対し、教育長からは、「変化の激しい時代を生きていくため、自ら新たな価値を創造していく力を身に付けるためにふさわしい学習方法であり、すべての教育活動を通じて進めていくことが求められている。世界に通じる広い視野、資質・能力を育て、すべての生徒が夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指したい。」との答弁がありました。

この他、皆さんもご存じのとおり、現在、県下各地で行われている県民や学校関係者などと意見交換をする地域懇談会に関する内容など、「学びの改革」について様々な議論が交わされました。

また、教育関連では「いじめ・不登校問題」や「夜間中学校」などについても、活発な議論がなされました。

さて、本日の「こんにちは県議会です」は、高校生の皆さんが自らテーマを考え、その内容について県議会議員に発表し、その後意見交換をするという、まさに、先程述べました「探究的な学び」ができる貴重な機会です。

この8月にも全県の高校生を対象に、県校長会との共催で、意見交換会を行いました。

参加した高校生の皆さんからは、「良い学習になったし、貴重な体験になった。何よりもとても楽しかった。」とか「県議会議員の考えを直接聞けて、長野県の取り組みについて理解を深められた。」など、嬉しい感想をいただきました。

同時に我々県議会議員も、高校生の考えていることや、皆さんの柔軟な発想からの意見を聞くことができ、将来の長野県を担う高校生の存在を頼もしく感じました。

普段、議員と直接話しをする機会は、ほとんどないと思いますが、今日は是非、臆することなく発言してほしいと思います。

新しい学校である大町岳陽高等学校の新たな校風を築くのは、まさに皆さんたちであり、将来の長野県を創っていくのも皆さんです。

選挙権年齢が18歳に引き下げられ、すでに選挙権を持っておられる生徒さんもいると思います。

本日の経験を契機として、県議会や県政に対する関心を高めていただき、「自分自身が長野県づくりに参加する」という気持ちを強く持っていただくことを期待しております。

また、今回の「こんにちは県議会です」をはじめとして、より開かれた県議会を目指して取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御協力をお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

(諏訪副議長)

続きまして、大町岳陽高校の山崎裕史校長先生よりごあいさつをお願いいたします。

(山崎校長)

皆様こんにちは。大町岳陽高校の校長をしております山崎裕史と申します。

よろしくお願ひします。本日は、「こんにちは県議会です」を本校で開催していただきありがとうございます。長野県議会議員の皆様方にはご多忙の中本校においでいただき、大変ありがとうございます。

最初に学校の紹介を少しさせていただきたいと思ひます。皆様ご存じのとおり、本校は大町高校と大町北高校を統合し、開校2年目を迎えた学校です。1, 2年生は、大町岳陽高校の生徒として入学し、3年生は大町高校と大町北高校で入学をしたという生徒達です。本校にはですね、学究科と普通科の2学科あります。生徒は見ていただいたとおり開放的で明るい校舎で学習、クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動に意欲的に取り組んでいます。校舎はすべて完成し、設備も充実しております。この会場はゼミ室と申しますけれども、まだ後ろのパーティションを取りますと、大きな会場になりまして、各種行事に使えるように作っていただいております。現在、大体育館が来年6月の完成を目指して工事中ということで、体育館の完成とグラウンドの整備ですべての工事が終了することになっています。

本年度は、電子黒板などのICT機器についても整備していただひて授業に活用しているところでございます。学習面では、学究科では2コース、普通科では3コースを設けてそれぞれの生徒の進路実現のために取り組んでおります。また、クラブ活動は6学級ありますので多くのクラブ活動があつて非常に盛んでございます。全国大会、北信越大会に多くのクラブが進んでおります。生徒の9割以上がクラブ活動に参加し、学習だけではなく、熱心に取り組んでおります。

行事の方もですね、大町高校、大町北高校両校の伝統ある行事を継承しております。

今年度は残念ながら悪天候で実施できませんでしたが、全校登山を、大町高校が実施されていたのを引継がせていただき、また、地域の皆さんにご協力をいただひております、アジア・アフリカ難民支援事業をですね、大町北高校から引き継いで全校で取り組んでいるところでございます。

どちらもですね、生徒の成長に非常に大切な行事ということになっています。

本日は、1年生が10人、2年生が14人、3年生が7人の、計31人の生徒が「統合した学校について」「大北地域の活性化について」「学校生活について」などのテーマでお話をさせていただきます。議員の皆様と直接お話しができる貴重な機会と、準備をして参りました。至らぬ点がありましたら是非ご容赦いただければと思ひます。

本日はよろしくお願ひします。

○出席議員の紹介、進行方法説明

(諏訪副議長)

ありがとうございました。

それでは、本日出席の県議会議員を紹介します。

(諏訪副議長) まず、県議会の広報委員、堀場秀孝議員です。

(堀場秀孝議員) 堀場と申します、よろしくお願ひします。

(諏訪副議長) 続いて、同じく小山仁志議員です。

(小山仁志議員) よろしくお願ひします。

(諏訪副議長) 同じく高村京子議員です。

(高村京子議員) 上田から来ました、よろしくお願ひします。

(諏訪副議長) 次に、地元議員として、自由民主党県議団 望月雄内議員です。

(望月雄内議員) 望月です。よろしくお願ひします。

(諏訪副議長) 新ながの公明、宮澤敏文議員です。

(宮澤敏文議員) こんにちは。

(諏訪副議長) 信州・新風・みらい、寺沢功希議員です。

(寺沢功希議員) よろしくお願ひします。

(諏訪副議長)

なお、本日出席予定でありました丸山栄一広報委員会 副委員長は、悪性の風邪に罹患しまして、皆さんに移してはいけないということで、急きょ欠席しておりますので、ご了承願ひします。以上でございます。

それでは議員の皆さんは、ご自身のグループの席にご移動ください。

では、今日の進行方法について説明いたします。

まず、生徒の皆さんが事前にまとめた「統合した学校について」、「大北地域の活性化について」そして「学校生活について」の3つのテーマについて、生徒さんに10分間プレゼンテーションしていただきます。

その後、グループごとにプレゼンテーションで発表のあったテーマに関して55分間、自由にグループディスカッションをします。進行は各グループの担当の生徒さんにお願ひします。

意見交換では、必ずしも結論まで求めるものではありませんが、残り時間15分程度のところで、まとめに入るアナウンスをしますので、グループ内で話し合った内容を集約した上で、5時35分から、各グループの発表担当の生徒さんから、発表していただきます。

その後、同じグループの議員全員からも一言感想を述べていただきたいと思います。

持ち時間を1名あたり2分間とし、以下同様に、4グループまで順番で発表を行います。

進行方法についての説明は以上です。

なお、本日の、「こんにちは県議会です」は、ビデオ撮影を行い、あわせて、概要を後日議会のホームページに掲載いたします。

また、報道の皆様にお願ひいたします。

本日のプレゼンテーションや意見交換の様子撮影については、予め生徒さん達の了解をもらっています。グループ・ディスカッション開始後は、取材する皆さんは意見交換に支障のない範囲で、会場内を移動してもらって構いません。

なお、終了後に生徒さんに直接個別に取材をされる場合には、新聞への掲載や放映する旨の確認をする

など、個人情報の保護には十分御配慮くださいますようお願いいたします。

それでは、生徒さん、発表をお願いします。

○プレゼンテーション

(生徒代表)

こんにちは。これから、今日話し合うことについて僕たち生徒会であらかじめ話し合ったことがあるので、そのことについてプレゼンテーションをします。

1 つ目は統合についてです。大町高校と大町北高校が統合したことにより、良かった点と課題となった点があると思います。良かった点は、生徒の人数が増えたことで行事の規模が大きくなったことです。人数が増えたことで、文化祭のフリーステージの出場団体が増えたり、クラス展の数が多くなり、より楽しい文化祭になったと思います。

課題となった点は、両校の伝統を合わせることが難しかったことだと思います。普通科と学究科のカリキュラムの違いでは、普通科が職場体験をしているときに、学究科では大学見学に行くといったことがあったのですが、学究科の人でも職場体験をしたい人や、普通科の人でも大学を見学しに行きたかった人などがいたと思うので、そういうところを選択できるとよいではないかと考えています。

一番難しかった点は、応援練習のことだと思います。大町高校では昔から応援練習を行っていましたが、大町北高校では応援練習を行っていませんでした。そんな伝統を合わせるために、先輩方が試行錯誤をして応援練習を行ってくれましたが、納得していなかった生徒たちも何人かいたようです。応援練習は今年の課題にもなると思うので、改善してもっとよい応援練習を行っていかたいと考えています。

2 つ目は大北地域の活性化についてです。地域を活性化するために一番大切なことは、人口を増やすことだと考えています。特に生産年齢人口を増やしたほうがよいと思うので、職場を増やすことが大切だと思います。近年力を付けている IT 産業は、現在の高校生のやりたい職業ランキングの上位にもあるものですが、大北地域には IT 産業はほとんどありません。そこで、IT 産業を増やすことで大北地域に就職する人が増えるのではないかと考えています。

人口を増やすには、職場があるだけではなく、地域に魅力があることが大切だと思います。皆さんは、「あなたの住んでいる地域の魅力は何ですか」と聞かれたときに、どのような答えを言いますか。私は、「おいしい水」と答えます。蛇口をひねればおいしい水が出てくる。この地域に住んでいる人は当たり前のことに思っているかもしれませんが、他の地域に行けば、飲むたびに水を買わなければいけないこともあります。1本100円、200円とする水を、一体何本買えばいいのでしょうか。そんな水を蛇口をひねれば飲むことができる。この地域は、おいしい水という良い魅力があるのではないのでしょうか。水だけではなく、おいしい空気や豊かな自然などを、どんどんPRしていくことが大切ではないかと考えています。

地産物をPRしていくことも、地域の活性化につながるのではないかと考えています。これは、大北地域ではなくなってしまうかもしれませんが、私は「そば」をPRしていきたいと考えています。「信州そば」というように、長野県のそばはとてもおいしいです。これを他の県や大学の学園祭などで振る舞ったら、「またあのおいしいおそばを食べに行こう」と思い、観光客が訪れてくれるのではないのでしょうか。

私は大町市民なので、大町市の活性化についても考えたことがあります。商店街を活性化させることや、遊ぶところを増やすことが大事ではないかと考えています。現在の商店街はシャッターが閉まったお店ばかりで、少し寂しく感じてしまいます。このお店が再び営業を始めたら、商店街はもっと盛り上がるのではないのでしょうか。

「自然が魅力だよ」と言われても、今の若い人たちからしてみたら、「それでも遊ぶところないじゃん」と思う人は多いと思います。最近松本にも大きなイオンモールができたと思いますが、あそこまで大きい規模のものでなくてもいいので、ここら辺の地域にもショッピングモールなどをつくったら、高校生や中学生をはじめとする若い人たちが、自分の地域がもっと好きになるのではないかと考えています。今年行われた芸術祭はとても良いものだったと思うので、もっとPRしていくことが大事ではないかなと思いました。テレビに取り上げてもらったり、コマーシャルをつくるのも効果的ではないかなと考えています。

3つ目は学校生活の意見についてです。現在大町岳陽高校には冷房が付いていません。昔のイメージだと「大町市は涼しい」というイメージがあると思いますが、全く涼しくありません。夏は暑さのあまり勉強に集中できない生徒も何人もいます。プレハブのときは冷房があったので快適に勉強ができたのですが、本校舎に来てみたら、なんと冷房がありませんでした。こんな暑さのあまり勉強に集中できない生徒も何人もいると思うので、ぜひ新校舎にも冷房を取り付けてほしいと考えています。

冬は乾燥するので、風邪やインフルエンザが大流行してしまいます。去年も私のクラスでは、クラスの半分ぐらいの人がインフルエンザにかかってしまうという大変な事態となってしまいました。そこで、そんな風邪やインフルエンザの流行を防ぐためにも、加湿器などの設置もしてもらいたいと考えています。

夏休みが短いと思う生徒は、この学校には何人もいます。もう一度言いますが、大町市は涼しくありません。暑い中で勉強しても効率が良くないと思うので、夏休みを8月いっぱいまで延ばしてもらい、自宅で勉強してもらうことで効率が良くなるのではないかなと考えています。

また、冬休みについても、他の県の学校の様子を聞くと、クリスマスになる25日ぐらいからは休みになっている地域も多いようです。この学校には白馬の方から通っている生徒も多いので、雪がそろそろ積もり始める時期なので、1時間目に間に合わない生徒なども出てきてしまいます。そこで、冬休みを始める時期も早くしたほうがよいのではないかと考えています。

バイトについても、生徒からの意見はたくさんあります。岳陽高校は原則、通常時のバイトは禁止です。長期休暇のときのみバイトが認められています。この制度は、生徒が勉強に集中できるようにつくられた制度で良いと思うのですが、高校を卒業したら就職しようと考えている人は、今からでも社会経験を積みたいと考えている人が多いと思うので、この制度もいいのですが、通常時にもバイトができるような制度に変えていってもらいたいと思います。

奨学金について悩んでいる生徒も何人もいます。「本当は私立大に行きたいけれども、経済的な事情で私立大ではなく公立・国立大学に行かなければならない、けれども学力はなかなか伸びてこない」、こんな悩みを持っている生徒は何人もいます。そんな生徒を減らすためにも、無利子の奨学金制度を多くしたり、奨学金制度をよりよいものにしてほしいと考えています。

電車通学をしている生徒で、大糸線の本数を増やしてほしいと思っている生徒はたくさんいると思いま

す。特に白馬方面への電車は3時間に1本しかないときがあります。学校が午前中に終わったのにもかかわらず、電車の都合で家に帰れるのは夕方、こんなこともあると思います。そんな状況をなくすためにも、大糸線の本数をもう少しだけ増やしてもらいたいと考えています。

以上で、私のプレゼンテーションを終わりにしたいと思います。貴重な機会ですので、生徒の皆さんはどんどん意見を出して活発な会にしてください。

(諏訪副議長)

発表ありがとうございました。

【1時間ほどグループディスカッション】

○意見・感想等の発表

(諏訪副議長)

それでは、まだまだお話ししたいことがあろうかと思いますが、ここで意見交換は終了とさせていただきます、各グループで話し合ったことにつきまして、発表に移りたいと思います。

それぞれのグループで1名、2分以内でおまとめいただきお願いしたいと思います。議員さんも同様でございますので、よろしく願いいたします。

まずAグループから、発表担当の生徒さん、お願いいたします。

(Aグループ代表生徒)

3つのテーマがあったので1つずつまとめさせていただきました。統合については、大町北高校と大町高校で、それぞれいい行事、あまり賛成されない行事の幾つかがあるので、伝統というのを意識していかなければいけないんですけれども、結局「岳陽高校」というものになったので、岳陽高校として新しい伝統と、大町高校、北高校のいいところを取り入れつつつくっていければいいんじゃないかなという結論に至りました。

続いて大北地域の活性化についてですが、人を増やすという考えも重要ですが、それ以前に大北地域の人口が減っていく、増えないということを前提として、じゃあその中で残った人たちでどれだけ大北地域をいいものにできるかを考えて、その中で大北地域のいいところ、特産物であったり、自然だったり、芸術祭のときも商店街にはかなりの人が来てくださって、収入としても大きなものがあったので、そういったふうに地域内のいいところを利用したものでどんどん活性化していけたらいいんじゃないかという話し合いをいたしました。

続いて学校生活についてですが、時間があまりなくてしっかり細かくは詰められなかったんですけれども、冷房・加湿器に関しては、もう同窓会の方をお願いをしてお金を出していただければなという、なるべくお金を出して設備を整えていただければという話をしました。

バイトや奨学金については、奨学金に関しては結構いろんな制度があると思うんですが、それを知らな

い。議員の方々に教えてもらって、そんな制度もあるんだというものもあったので、奨学金を増やせと言うんだったら、まずちゃんと何があるかを知って、その上で話をしていけばいいのではないかという話をしました。大糸線の本数は、市の方に増やしていただかないと結構困る場面が多いので、頑張ってくださいをお願いしていただければいいかなという話をしました。以上です。ありがとうございました。

(諏訪副議長)

ありがとうございました。

それでは小山議員、感想をお願いします。

(小山議員)

A グループの皆さんとご一緒させていただきました小山でございます。本当に貴重な時間をいただきましてありがとうございました。生徒の皆さんの柔らかくて明るい発想力や想像力、それから統合に伴う切実な課題というものも肌で感じさせていただくことができました。風土の違う伝統を、うまくかみ砕いて磨き上げていく、新しいものをつくっていくということに、また新しい岳陽の校風が生まれていく可能性も感じさせていただきましたので、頑張ってくださいと思います。

私も忘れかけていた青春時代の心呼び覚ましていただきました。こういったざっくばらんな機会が、もっと議会とあってもいいのかなと感じた次第です。ここまで来てよかったなという余韻を、これから県政や議会に運び込んでいきたいと思っています。本当に貴重な時間をありがとうございました。

(諏訪副議長)

ではBグループの発表の生徒さん、お願いいたします。

(Bグループ代表生徒)

B グループでまとめたことについてお話しさせていただきます。統合については、統合して行事の一つ一つの規模は大きくなったかもしれないですが、行事の数が減ったという意見が出ました。そこに関しては、これから全部を合わせていくのは難しいので、削るものはちゃんと削って、取り入れたいものは自分たちで取り入れて、どんどんと大きくしていけたらと思いました。

大北地域の活性化については、やっぱり遊ぶところが欲しいんです、切実に。けれども、私たちの要望ばかりじゃなくて、下の世代たちにつないでいくには、やっぱり公園とかがあったほうがいいんじゃないかという意見がありました。あとショッピングモールを建てたりすれば活性化していくんじゃないかという意見もあったんですけども、ショッピングモールができちゃったらできちゃったで、商店街が活性化できないという課題が残ってしまうので、そこももっとみんなでやっていけたらいいなと思います。

学校生活についてはあまり話し合うことができなかったんですけども、すみません、同窓会長さんがいる前で夏の冷房をどうたらこうたらというお話をしてしまったのですが、大町市は夏は暑くなってきましたので、冷房をお願いします。大糸線の本数を増やしてほしいと言ったのですが、人が乗らないのでお

金がないということがあるので、お金絡みばかりですが、やっぱりそこもどうかお願いいたします。以上です。

(諏訪副議長)

では、望月議員のほうから。

(望月議員)

何年ぶりなのかな、こんな若い人と真剣に意見を交わしたなんていうことは。娘や息子ともこんなにやったことないのに、貴重な時間をありがとうございます。とにかくみんな目がきれいで、ほほ笑んで話してくれるその姿に見とれて、聞き惚れておりました。

やっぱり聞いてみなければ分からないなということで、特に夏の冷房、それから冬加湿器が欲しいということで、大町がこんなに暑いかと改めて知らされました。昔から大町は涼しいところで、夏は(信濃木崎)夏期大学に全国から著名な方々がいっぱい来ました。今でも夏期大学はやっていますが、昔ほどの盛況ではないと聞いたのは、やはり暑くなってきたからということも影響しているのでしょうか。そんなことで、これは全県的な課題だろうと思っています。

それから、足の悪いおばあちゃんから学校へ行って授業を見てみたいと言われたのに、エレベーターがないので連れてこられない。「開かれています、開かれていますと言うけれども開かれないじゃん」というこの一撃は、ボディブローになりました。ぜひこういうことを課題として取り上げて、何とかしなければと思います。よくよく聞いてみたら、将来エレベーターを付けるようなスペースもちゃんと残してあるということですから、これから付けたらいいんじゃないかということでもありますので、また一生懸命議会のほうで応援したいと思っています。今日は本当に貴重な時間をありがとうございます。10年は若返った、ありがとう。

(諏訪副議長)

続きまして、Cグループの発表者の生徒さん、お願いいたします。

(Cグループ代表生徒)

まず統合した学校についてですが、良い点として、部活数が増えたことにより無所属の人が少ないのではないかという話になり、統合したことによりそれぞれの良さを生かしているという意見が出てきました。

2番の大北地域の活性化についてですが、電車の本数が少ないじゃないですか。そうすると、やっぱりその空き時間に遊ぶ場所が欲しいという意見になり、遊ぶ場所を増やすとそこで職場が増えるじゃないですか。そこで一石二鳥というか、いい方向につながるのではないかという意見が出ました。

大町市をPRするために、大町市を全面的にPRしていただくだけではなく、その周辺地域から発展して大町市をPRしていこうという意見が出て、例えば大町市はこうですよというのではなく、白馬から南部に大町市があるのでぜひ寄ってみてくださいというように、周辺地域も絡めて大町市をPRしていくといいのでは

ないかという意見が出ました。

3つ目の学校生活についてですが、大糸線は増えてほしいんですが、やっぱり乗る人数が少なくて増やせないのではないかという意見が出て、それなら増やすのではなく、時間を変更してほしいという意見が出ました。3時間に1本だときついので、そこを変更すれば改善できるのではないかと。

夏の冷房と夏休みに関してですが、夏の冷房を付けると夏休みを長くしなくてもいいので、冷房を付けるか、夏休みを長くするかのどちらかというふうにまとまりました。以上です。

(諏訪副議長)

ありがとうございました。

それでは、同じテーブルの堀場議員から感想をお願いいたします。

(堀場議員)

僕と45ぐらい違う生徒さんからいろいろな話を聞きました。学校の授業の時間も、僕らのころを思い出したときに、やはり55分ということで長いのかなと言いながらも、終わるのは4時5分。それから部活も大変だなと思いながら、先ほども電車の話聞いたときに、そういうことからすると、活用が少ないことに時間を取られるというのは、たぶん今の子どもさんからすると納得ができないのかなと思いました。

もう一つは、ベストの話が出まして、色がどうのこうのという話になって、「えっ、色なんだ？」みたいな。でも、納得しなくても校則なので従わなくちゃいけないんだけど、何かモヤモヤしたものがあるのかなと。その辺はもう少し、学校に言ってもたぶん無理かもしれないけれども、やはり生徒さんたちで話し合っ、生徒の総意が7割、8割あれば何か変わるような気もするので、頑張っていってほしいなと思いました。ありがとうございました。

(諏訪副議長)

次に寺沢議員、お願いいたします。

(寺沢議員)

今日は本当に貴重な時間をありがとうございました。みんな、自分の思っていることをそのままちゃんと言葉にして出せるし、みんなが自由に言った意見をその場でまとめて、これだけの人の前で発表できるというのはすごいなと思いました。自分の高校時代を考えると絶対そんなことできなかったですし、私の娘は高1と中3ですが、絶対できません。今日帰って説教です。

遊ぶところがない、本当に切実だというお話がありました。せっかくこの楽しい高校時代の3年間で、すごいものじゃなくても、ちょっとしたスペースがあって、ちょっとした場所があって、コーヒーを飲んだり、ジュースを飲みながらだべって、たわいもない話をする、それがちょっとした思い出になると思いますから、本当に何か考えていいスペース、いいところがあればなと思いました。ビジネスチャンスかなとも思いました。もしかしたら来年、私が大町駅前何かやっているかもしれませんので、その際は

ぜひ寄って行ってほしいなと思います。

今日は皆さんから、本当に貴重なご意見をたくさんいただきました。その意見をこれからのお金儲けにぜひ活用していきたいなと……、失礼しました。これからの県政に役立てていきたいと思っておりますので、これからもぜひよろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

(諏訪副議長)

続きましてDグループの発表の生徒さん、お願ひをいたします。

(Dグループ代表生徒)

Dグループでは、最初のプレゼンテーションで出された内容とは少し視点を変えて、学校のカリキュラム、2校の大町北高校、大町高校のカリキュラムの合併について話し合いました。3年生の今の時期について、試験が終わった後の自由登校が、両校のカリキュラムによって差が出るなどいろいろな意見がありましたが、やっぱり県内にも、私たちの大町岳陽高校のように統合した学校は何校かあるわけであって、通過点として、新しい伝統をつくっていくみたいな感じで飲み込んでいけばいいのではないかという意見でまとまりました。

2つ目の大北地域の活性化ですが、大町市の商店街は今、皆さんもご存じのようにシャッター街が多いのですが、今年行われた芸術祭に関連して、シャッター街のシャッターのところにはアーティストさんと契約してペイントなどをして発展させていければよいのではないかという意見が出ました。

また職場を増やすということですが、大町市は他の安曇野市・白馬などと比べて他の市の人の受け入れが少ないという意見が出ました。他の市の人の受け入れに対して、最初に晴哉君が言ってくれたIT産業の会社などを誘致していくように、視点をどんどんと広げて地域の活性化をしていけばいいという意見にまとまりました。

最後の学校生活について、やはり皆さんの意見のとおり大糸線の本数を増やしてほしいという意見ですが、議員さんのほうもJRと掛け合っただけで本数を増やすようにしてもらいたいという意見を伺ったんですが、やっぱり議員さんだけではなくて、私たちの意見も発信すべきという意見があり、署名などをして地域の市役所、JR、マスコミなどに取り上げてもらうことによって、本数を増やすことにつながるのではないかという意見が出ました。

また研修旅行・修学旅行についてですが、高校の行事として研修旅行、大学めぐりなどではなく、大町北高校のほうで行われていた修学旅行で沖縄に行くなど、そういう行事にしたほうがいいのではないかという意見にまとまりました。

(諏訪副議長)

ありがとうございました。

それでは、宮澤議員のほうから感想をお願ひいたします。

(宮澤議員)

とてもいい機会をいただきまして、大町岳陽高校は真面目で誠実で、前に向いて考えるという学風がちゃんと定着されておられるなど、こんなことでとても心ウキウキするような、ワクワクこんこんとした時間をいただきました。私どももそうですが、問題に対してどういうふうに対応するのかということが、しっかりと議論されていらっしゃるということで感心しました。

例えば人口が少なくなった、若い人たちをどうやって集めるか。やはり高校の上に大学とか専門学校をおつくりになったらどうですかという意見が、生徒の皆さんから出てきたというのはすごいことだなと思いますし、やはり IT 産業の問題、さっき生徒会長がプレゼンしたように、そういうふう具体的なものをちゃんと提案できるだけの力を持っていることは、やっぱり先生たちの教育、それから自ら学ぶ姿勢がしっかりできているんだなど、こんなふうに思って本当にうれしくなりました。やはり岳陽高校は素晴らしいなど、こんなふうに思いました。

先ほど生徒さんが最後に言われましたが、北高の同窓会の副会長もあそこにおりますけれども、ぜひとも修学旅行を。大学めぐりして研修しても何の思い出にもならない。思い出づくりということをとってお話がありましたが、本当にそこら辺のところは、大町高校というのは山へ登るんです。北高というのは修学旅行へ行くんです。そういう2つのところをどういうところに接点を持っていくのか、なかなか先生たちも大変かもしれませんが、やはり学生の思いをしっかりとお抱きになられていただければなと思っています。

解決策を考えられる思考回路を持っていらっしゃることはとても大事なことで、すごいことだなと思うので、改めて感謝と同時にたくましさを感じました。最後に、どうか岳陽で学ぶ誇りを持ち続けてくださいということを私のほうはお願いいたしました。すてきな時間をありがとうございました。

(諏訪副議長)

次に高村議員、お願いいたします。

(高村議員)

D グループでお話しさせていただきました。皆さんとてもすてきで、目がキラキラして、そして岳陽高校だけではなく、この地域を愛しているということが皆様の発言から感じ取れました。いろいろ切実なご要望があったのですが、それも高校生の皆さんがこの学校をつくっている主役ということで、今日もいろいろお話しさせていただきましたが、18歳になると選挙権があるということで、皆さん本当にもう少ししたら有権者になるということの中で、いろいろこの地域の活性化についてお考えでいらっしゃいました。

私は素晴らしいと思うんですね。北アルプスがあり、おいしい空気と水があるということですしけれども、もう一つアートということで、シャッター通りのシャッターのところにアートをやって活性化したらどうか、あるいはお年寄りが憩えるまちづくりもしたいというご意見もあって、本当に皆さんそれぞれの視点ですてきな発言がたくさんいただけたかと思えます。本当にありがとうございました。

(諏訪副議長)

ありがとうございました。一応各グループ発表は終わりましたが、この機会ですから何か意見、あるいは感想を述べたいという生徒さんがいましたら、手を挙げていただければ時間を取りますが。よろしいですか。

○校長感想

(諏訪副議長)

では、最後に校長先生と議長のほうから、今回の発表をお聞きしながらの締めをしていただきたいと思います。まず山崎校長先生、お願いいたします。

(山崎校長)

本日は、議員の皆様方には貴重なお時間をいただき大変ありがとうございました。生徒たちの話に耳を傾けていただきまして、大変ありがとうございました。

私も改めて思ったのですが、生徒たちは、日ごろから自分たちの住む地域のこととか、学校のこととか、生活のことについていろいろなことを考えているのだなど。ただ、今までは自分の中で考えていた、仲間とだけ話をしていたということが、今日はこういう機会をいただいたことで、議員の皆様には自分の思いとか考えとか、もっとこうしてほしいとかという思いを伝えることができたんじゃないかと思っています。

先ほどお話ありましたけれども、3年生は既に選挙権を持っている生徒もおりますし、1、2年生でももうすぐ選挙権を持つということになります。今日は議員の皆様には聞いていただいてお願いをするということがあったり、新しい提案をするということもあったと思うんですけども、今回のことがきっかけで、生徒の皆さんが今後さらに自分の身近な問題に取り組んでくれて、地域に出ていろんなことを考えて、さらにこの地区のためにいろんなことに取り組んでいただければと思っています。

耳の痛いことで学校のことについていろいろとお話をいただきましたので、われわれ自身も思いはあるわけで、職員もまた生徒の声に耳を傾けながら、いろんなことを考えながら、より良い大町岳陽高校をつくっていきたいと思っています。本日は長時間にわたりまして、大変ありがとうございました。

(諏訪副議長)

山崎先生、ありがとうございました。

○主催者感想

(諏訪副議長)

では最後に垣内議長から、会議も含めましての感想をお願いいたします。

(垣内議長)

大変ご苦労さまでございます。素晴らしい生徒の皆さん方でありまして、この学校の中のエリート中の

エリートが集まったのではないかなと思いました。私の高校時代と比べますと、今の子どもたちのほうがよっぽどしっかりしているなということを感じたわけであります。われわれの若いころは、先輩方に「今の子どもは駄目だ。今の子どもはなっていない」ということをよく言われたものでありますが、最近そういうことを言う大人もあまりいなくなってきましたが、それだけ子どもたちが、しっかり確認した考え方を持って高校生活を送っているのかなと思いました。

またこの学校の統合ということの難しさも、話を聞いていて思いました。さまざまなこの人格の違う高校が1つになって2年間、その中で生活していくという、ある意味社会の縮図のような嫌な思いもしたことも、また楽しいこともあったかと思いますが、他の高校には見られないような自治の芽がここでできたのではないかと感じたわけであります。

今の2年生が3年生になりますと、大町岳陽高校は1年から3年までそろそろわけでありますので、さまざまな知恵を生かして新しい校風をつくっていただいて、この大町の地に確固たる素晴らしい学校になるようにご期待申し上げます。

今日の話をしていろいろ聞いていますと、市長さんもおられますし、村長さんも2人おられますので、相当耳が痛い話もあったのではないかと思います。県議会議員も、また市長さんも村長さんも力を合わせながら、この長野県のため、この地域のために、皆さん方の意見を聞きつつ素晴らしいものにしていきたいと思えます。本当に今日はありがとうございました。

(諏訪副議長)

垣内議長、ありがとうございました。

以上をもちまして、「『こんにちは県議会です』大町岳陽高等学校」を終了いたします。

生徒の皆さん、そして、会場の皆様方におかれましては、長時間にわたり熱心にご参加をいただき、誠にありがとうございました。